



まちのよそおい

30

編集・発行 特定非営利活動法人まちのよそおい・ネットワーク（略称：NPO法人まちよそ）

2003年5月17日 連絡先 宇部市大字川上420-9（株）グリーンデザインオフィス内（〒755-0093）

携帯：090-1460-3091 FAX：0836-32-82025 岩田（理事・事務局長）HP：<http://www.sujet.co.jp/matiyoso>

私の感じたこちよいい景観

「木のある風景」 やまねゆき



6月

農作業が一段落すると、本格的な夏がやってくる

日射しが強くなる前に、今日の作業を済ませておこう
大切な田んぼの手入れは、朝いちばん
暑くなったら木陰で休もう

水鏡にその身を映し、
木はいつからそこに立っているのか

春にはれんげ
初夏の田植え
秋は稲刈り
雪の田んぼ

季節（とき）の移ろいと人々の暮らしを
ずっと見守ってきたんだと
これからも
ずっと見守ってゆくんだと

第1回「山口近代建築セミナー」を実施しました！

セミナーの概要

旧正田邸、豊郷小学校、そしてここ山口では、記憶に新しい下関市役所第一別館（旧下関郵便局電話課分室）を巡る保存の動き…。今、どうして近代建築がこんなにも話題になるのでしょうか？「愛着」、「滅びの美学」、それとも「懐かしさ」…？

こうした中、昨年7月に設立した「山口近代建築研究会」の主催で、近代建築史の第一人者石田潤一郎氏の講演を中心に、第1回目の「山口近代建築セミナー」を実施しました。

〔日 時〕平成 15 年 3 月 1 日（土）13:00～16:30

〔場 所〕山口県県政資料館 2 階 正庁会議室

〔協力〕山口県管財課

〔後援〕NPO 法人まちのよそおいネットワーク

第一部：近代建築の保存・再生を考える

基調講演「近代建築保存・再生の現在」石田潤一郎氏（京都工芸繊維大学教授）

第二部：山口県旧県庁舎のデザインの謎を探る

絵本読み聞かせ「ぼくらの町の真ん中に」

解説：山崎一夫氏、語り手：中村佳恵さん

研究会活動紹介：福田東亜氏

報告 1 「山口県旧庁舎と同世代の県庁舎たち」：原田正彦氏（山口県庁）

報告 2 「山口県旧庁舎及び県会議事堂をめぐる建築技師」：浅川均氏（山口県庁）

報告 3 「山口県旧県会議事堂の保存修理」：木村和夫氏（文化財建造物保存技術協会）

講演を振り返って

石田先生は、1970 年代から始まった近代建築の保存実例をスライドで紹介されながら、単に景観的側面を大事にした「ファサード保



存」や「レプリカ保存」は、判断停止の危険性を持つことを指摘されました。そして今後は、都市計画と建築歴史や保存技術の面からの「最適解」を粘り強く見つけていくこと、そのためには、ヨーロッパなどに見られる「古い建物に新しい生命を与える」実例（プラッケン・ハウス、カレ・ダール、リヨン・オペラハウス…）を参考にしながら、「おもしろい保存」を目指していかねばならない、と結ばれました。近代建築の保存・再生に関する多くのご示唆をいただき、たいへんに有意義な講演でした。

当日は、大雨にもかかわらず、また近代建築という固いテーマだったにもかかわらず、約 60 名の参加者があり、まずは大成功だったと言えるでしょう。参加された皆様、お疲れ様でした。

報告書の発刊

4 月にはこのセミナーの全内容をまとめたものに加え、各会員の県内近代建築についての研究を紹介した活動報告書「山口近代建築研究」（A4 版 60 ページ）を発行しました。ご入用の方は、福田研究室までご連絡ください。



盛況の近代建築セミナー（2003/3/1 県政資料館 2 階正庁会議室）

山口民家再生研究会の 2002 年度活動(別名“山口ダッシュ村”)について、沼田登さんの提供資料に基づき、東が構成し直しました。このニュースレターでは写真を中心とした報告とさせていただきます。詳しくは 2002 年度活動報告書で行ないます。



2002 年度の主な活動は次のとおりです。

- 02/06/21 『総会』『民家丸洗い』
- 02/07/21 『実測本調査』『水源探訪』
- 02/11/24 『簡易水平加力試験』
- 03/02/08 『環境体験栽培：シイタケ、ナメコ』
- 03/03/16,04/20,26,29 『環境体験稲作：休耕田の再生』



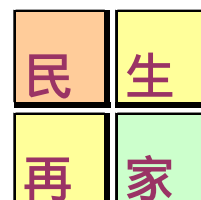
山口ダッシュ村 15 年度の活動予定

ダッシュ村活動

- 03/07
 - ・休耕田の再生整備
 - ・稲作
 - ・その他栽培
 - ・狩猟
 『田植え・民家再生方針の発表』
- 03/10
 - ・周辺環境資源調査
 - ・田畑の手入れ
 『稲刈り・実施設計の中間発表』
- 03/12
 - 『忘年会・民家再生工事の発表』
 - ・次年度活動準備、工事準備

民家再生活動

- ・詳細実測
- ・平面計画の検討
- ・再生デザインの検討
- ・再生工法の検討
- ・再生工法検討
- ・使用材料の検討
 - ・実施設計
 - ・金額検討



「やまぐち住環境・福祉機器支援ネットワーク(住環境ネット)」

東 孝次

3年目となる2002年度は、次の4つの事業に取り組みました。

・医療・保健・福祉関係者のための製図教室の開催

3回目となる今回は、昨年度に続き AKi 建築設計事務所の沼田さんを講師に迎え開催しました。

・施工業者向け講習会の開催

動作障害の原因となる機能障害などについて、山口県作業療法士会副会長の中村敏浩さん(鹿野博愛病院)に、実演を伴いながら分かりやすく説明していただきました。

・住環境ネット・サブネットワーク登録者アンケートの実施

2000年10月に発足した「住環境ネット」が2年半経過することもあり、サブネットワーク登録者の意向把握と協力要請のために、アンケート調査を実施しました。サブネットワーク登録者に限定した調査であるにもかかわらず、回収率36.2%と低く、住環境ネットの活動が余り地に足の付いたものとなっていないことが伺われます。

・リーフレット「住宅改修、福祉機器選定で困ったことはありませんか？」の作成

サブネットワーク登録者の皆さんから寄せられたものをベースに事務局(「NPO法人まちよそ」・住環境ネット担当者:東孝次)が編集・作成しました。余部が十分ありますので、ご活用をお願いします。

編集後記

2002年度の活動もなんとか終了できそうです。年度当初は、循環型地域づくりや“手作り景観賞”の基準づくりも手掛けようと意気込んでいましたが、全くといっていいほど活動することができませんでした。一方、人的な関わりとわずかな資金助成ということで「支援事業」と勝手に位置付けている「山口近代建築研究会」「山口民家再生研究会」「住環境ネット」の活動は、精力的に展開されました。その一旦を本ニュースレターで報告していただきました。「まちよそ」の活動も10年以上経過しました。来年度は、大きなイベントの企画も検討しています。一層のご支援、ご協力をお願いします。(A.K.)